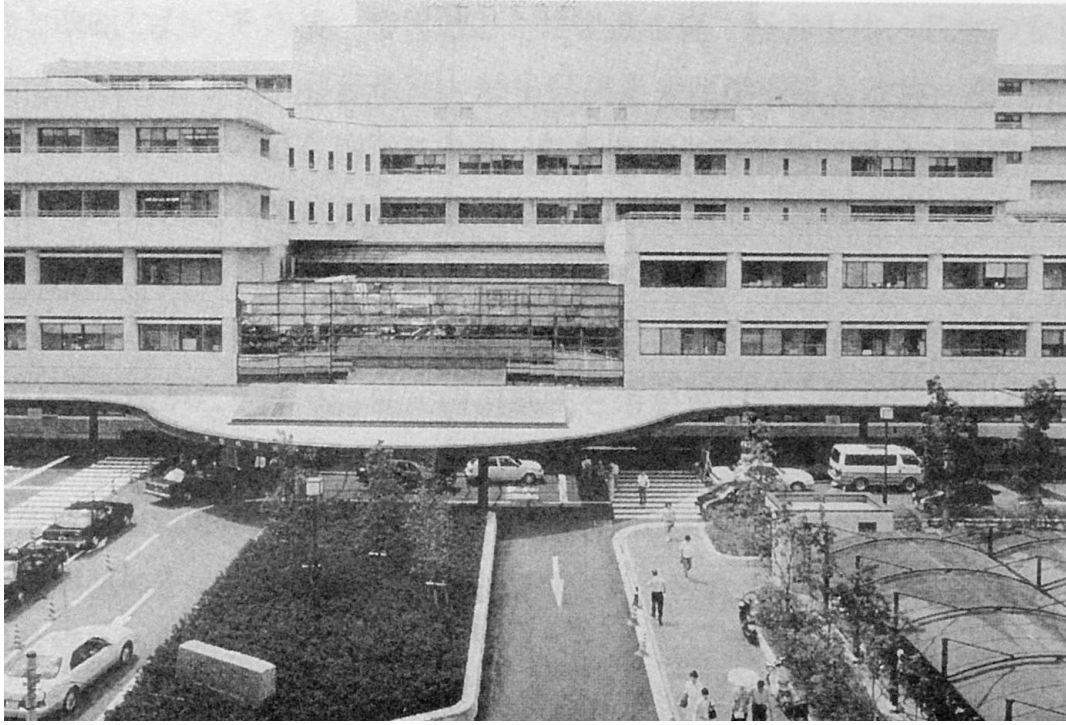


市民病院



大垣市民病院正面

市民病院

◎沿革

大垣市の医療整備は、昭和8年1月郭町1丁目に大垣市立診療所を開所したことに始まる。その後、西濃（岐阜県西部）各町村からの要望により、昭和13年1月大垣市ほか20カ町村診療組合立大垣病院と改組したが、別に農村部においても農村医療の関心がたかまり、昭和18年11月農業団体法の公布とともに、岐阜県農業会に経営を移管、岐阜県信用購買販売利用組合連合会立大垣病院と改組した。その後、時代とともに変遷を経、経営主体、名称の変更があったが、昭和23年1月南高橋町2丁目に移転改築、岐阜県農業会西濃病院と改称、総合病院として発足した。昭和23年8月農協法の公布施行により、岐阜県厚生農業共同組合立西濃病院と改称され、西濃地方唯一の総合病院として利用者も多く県下の農協関連の病院の中でも経営、規模とも抜群であった。

政府の国民皆保険の公布の実施方針の決定により、市においても再び公的医療機関としての市民病院の設立の機運がたかまり、前記西濃病院を市が買収し、昭和34年10月市民病院が開設された。また、移管と並行し、病院近代化計画により建設が進められていた市民病院は、昭和36年6月、現在地の南類町4丁目に診療棟（診療科目10科）1棟鉄筋2階建、病棟1棟（183床）鉄筋3階建及び附属棟を完成し、新しく移築開設され、数々の改築等により現在に至っている。

◎概要

市民病院は、岐阜県西部の西濃圏域（大垣地域及び揖斐地域広域市町村圏・2市11町・人口約400,000人）の中核的基幹病院として位置づけられており、地域住民に対する医療の確保、地域医療水準の向上を目指し、医学の進歩に応じた高度医療、救急医療を重点目標として、年々施設、医療機器の整備拡充、並びに医療技術者の確保に努め、地域住民の信頼を得てきた。

昭和55年9月大垣市第二次総合計画基本答申で、圏域における中核的総合病院として、地域住民の健康管理と適正な医療設備の整備拡充を図るよう提言があり、病床不足の解消、ICU・CCU、手術室、検査部門の整備拡充を図るため、昭和57年12月、6か年継続事業で多目的棟（管理棟）・2病棟・伝染病棟の増改築工事に着手した。また、市民各層からの要望により、透析センター（15床を40床に）・管理部門（図書室・研究室等）等の充実のため、昭和61年10月管理棟西の新築工事を継続事業の中に組み入れ着工、昭和63年1月には総工事費89.6億円を費やし全ての工事が完成し、昭和63年2月病床数を808床とした。さらに、昭和63年4月には新生児未熟児センター・胸部外科（心臓血管外科）病床の増床（45床）により総病床数を853床とし、診療科目の増設及び院内の組織の改正を行った。

昭和63年12月大垣市第三次総合計画が策定され、医療技術の進歩による高度医療部門の整備、救命救急医療体制の充実、さらに外来患者に対するサービスの向上を図るよう提言があり、平成2年5月、5か年継続事業で、増加する外来患者に比し狭隘化し、かつ老朽化した診療棟及び1病棟の改築に着工、平成6年8月には建築工事が完成、平成6年10月に救命

救急センター新設等に伴い病床数を増床（35床）し、病床数を888床とした。平成7年10月には外構工事が完成し、平成2年度に着手した診療棟外増改築事業が完了した。また、大垣市第四次総合計画に基づき、老朽化に伴う3病棟の増改築工事を5か年継続事業で平成14年3月に着手し、平成16年9月西側部分の完成に伴い供用を開始した。

救急医療については、昭和40年3月救急病院の指定を受け、地域医療の担い手として、24時間体制を敷き、脳神経外科・循環器科・胸部外科・ICU・CCU等の設置、CT装置・血管連続撮影装置、核磁気共鳴装置、体外衝撃波腎・尿管結石破砕装置等の関連設備の整備により医療体制の充実を図ってきた。平成6年10月には脳卒中、心筋梗塞、頭部損傷等重篤な救急患者に対応する救命救急センターを新設し、一次から三次までの救急医療を実施し成果を挙げている。

平成11年3月限りで、伝染病予防法・性病予防法などが廃止され、4月から「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」が施行された。これに伴い、従来からの伝染病床30床を廃止し、第二種感染症指定医療機関に指定されるとともに、感染症病床6床の設置により総病床数は864床となった。

また、増加する入院患者の治療を充実するため、一般病床24床を同年7月から増床し、総病床数888床となった。

経営面では開設以来健全経営を維持しており、職員教育面については、院内では病院年報の発刊、対外的には医学図書の発刊と医療技術の研鑽に努め各医学会で評価を得、患者中心の医療の推進に邁進している。

昭和63年5月には、地域医療の確保に重要な役割を果たしていること、健全経営の堅持等の功績により、自治大臣表彰を受賞した。

また、平成15年5月には、病院開設以来健全経営に努め、地域医療の向上に貢献したこと等により、総務大臣賞を受賞した。

平成15年7月には、(財)日本医療機能評価機構より、同機構が学術的な観点から、中立的な立場で評価し、定められた基準を達成しているとして病院機能評価の認定（一般病院種別B）を受けた。

平成17年1月17日、地域の医療機関と連携し、専門的な質の高いがん医療が提供できる病院として、厚生労働大臣から「地域がん診療連携拠点病院」の指定を受けた。

平成17年4月より、小児救急医療に係る休日夜間の診療体制を常時整え、初期救急医療施設及び救急搬送機関から転送された小児重症救急患者を受け入れる病院として事業整備を行った。

平成16年5月から3か年の継続事業により、オーダリングシステムから電子カルテシステムまでを整備し、診療情報、患者情報を統合的に管理する、医療情報総合システムの開発に着手、平成18年1月から医師からの検査、処方等の指示が医師の端末入力により各部署へと伝わるオーダリングシステムの稼働、平成19年1月の電子カルテシステムの稼働により、「医療情報総合システム」が完成し、本稼働となった。

平成14年3月に着手した3病棟増改築工事の東側部分が、平成18年12月に完成し、翌1月に供用を開始した。この完成に伴い、10階には自宅での生活を継続しながら外来通院で抗がん剤治療が受けられるよう「通院治療センター」を開設した。

平成19年4月から、医療事故の発生防止や医療関係の相談及び地域医療機関との連携強化

に対応するため、医療安全対策室と病診連携及び医療福祉相談部門からなる「よろず相談センター」を設置した。

平成 20 年 2 月 29 日後天性免疫不全症候群に関する特定予防指針（平成 18 年 3 月 2 日厚生労働省告示第 89 号）によるエイズ治療の拠点病院に選定された。また、平成 20 年 3 月にはこれまで発見が難しかった小さいがんも見つけることができ、全身の PET 検査と CT 検査が同時に行える PET-CT 装置を購入した。

平成 20 年 7 月 1 日に入院医療費を、包括評価による『定額払い』という新しい会計方式である診断群別定額払い方式(DPC)を導入するとともに、医療費のクレジットカードによる収納を開始した。

平成 21 年 3 月 16 日、(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価を受審し、認定基準を達成しているとして病院機能評価の認定 (Ver. 5.0) を取得した。

平成 21 年 9 月には、市民病院救命救急センター増改築工事の一期工事に着手し、平成 22 年 3 月に完了、放射線治療装置を設置した。引き続き、平成 22 年 7 月から二期工事に着手した。

平成 22 年 4 月に、「臨床研修センター」を設置し、研修医の研修体制を充実させた。

平成 22 年 5 月に、地域医療の確保に重要な、健全経営の堅持等の功績により、2 回目の総務大臣表彰受賞となった。

平成 22 年 7 月 27 日に、特定非営利活動法人卒後臨床研修評価機構による臨床研修評価を受審し、認定基準を達成しているとして臨床研修評価の認定を取得した。

1. 診療概要

- | | |
|-----------|--|
| (1) 開設者 | 大垣市 |
| (2) 所在地 | 大垣市南頬町 4 丁目 86 番地 |
| (3) 開設年月日 | 昭和 34 年 10 月 1 日 |
| (4) 診療科目等 | |
| 診療科目 | 総合内科、糖尿病・腎臓内科、血液内科、神経内科、消化器科、呼吸器科、循環器科、精神科（精神神経科）、小児科、第 2 小児科（小児循環器、新生児科）、外科、小児外科、脳神経外科、心臓血管外科（胸部外科）、呼吸器外科、形成外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、頭頸部・耳鼻いんこう科、歯科口腔外科、放射線科、リハビリテーション科、麻酔科 |
| | [透析センター、新生児集中治療室、通院治療センター、救命救急センター（救急室、集中治療室）、健康管理センター] |
| 診療時間 | 土・日曜日、休日を除く午前 8 時 30 分から午後 5 時 15 分 |
| 法的資格 | 地方公営企業法財務適用 |
| 許可病床 | 888 床（一般 842 床・感染症 6 床・結核 40 床） |
| 届出事項 | 【基本診療】、一般病棟入院基本料（10 対 1）、結核病棟入院基本料（10 対 1）、一般病棟看護必要度評価加算、救急医療管理加算・乳幼児救急 |

医療管理加算、総合入院体制加算、臨床研修病院入院診療加算（基幹型）、超急性期脳卒中加算、妊産婦緊急搬送入院加算、診療録管理体制加算、医師事務作業補助体制加算（75対1）、急性期看護補助体制加算1、重症者等療養環境特別加算、がん診療連携拠点病院加算、栄養管理実施加算、医療安全対策加算1、褥瘡患者管理加算、褥瘡ハイリスク患者ケア加算、ハイリスク妊娠管理加算、ハイリスク分娩管理加算、慢性期病棟等退院調整加算2、急性期病棟等退院調整加算2、新生児特定集中治療室退院調整加算、救急搬送患者地域連携紹介加算、救命救急入院料1、救命救急入院料1（A加算・小児加算）特定集中治療室管理料1、特定集中治療室管理料1（小児加算）、新生児特定集中治療室管理料1、小児入院医療管理料4、亜急性期入院医療管理料1、地域歯科診療支援病院歯科初診料（障害者歯科医療連携加算）、歯科外来診療環境体制加算、地域歯科診療支援病院歯科初診料

【特掲診療】喘息治療管理料、糖尿病合併症管理料、がん性痛緩和指導管理料、地域連携小児夜間・休日診療料2、地域連携小児夜間・休日診療科2（院内トリアージ加算）、ニコチン依存症管理料、地域連携診療計画管理料、がん治療連携計画策定料、肝炎インターフェロン治療計画面料、薬剤管理指導料、医薬品安全性情報等管理体制加算、医療機器安全管理料1、血液細胞核酸増幅同定検査、HPV核酸同定検査、検体検査管理加算（Ⅰ）、検体検査管理加算（Ⅲ）、心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算、埋込型心電図検査、胎児心エコー、長期継続頭蓋内脳波検査、神経学的検査、コンタクトレンズ検査料1、小児食物アレルギー負荷検査、内服・点滴誘発試験、センチネルリンパ節生検1、2、画像診断管理加算1、ポジトロン断層・コンピュータ断層複合撮影、CT撮影及びMRI撮影、冠動脈CT撮影加算・心臓MRI撮影加算、抗悪性腫瘍剤処方管理加算、外来化学療法加算1、無菌製剤処理料、心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）、脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）、運動器リハビリテーション料（Ⅰ）、呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）、集団コミュニケーション療法料、頭蓋骨形成手術（骨移動を伴うものに限る。）、脳刺激装置植込術（頭蓋内電極植込術を含む。）及び脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術、乳腺悪性腫瘍手術（乳がんセンチネルリンパ節加算1、2）、経皮的冠動脈形成術（高速回転式経皮経管アテレクトミーカテーテルによるもの）、経皮的中隔心筋焼灼術、ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術、両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術、埋込型心電図記録計移植術、埋込型心電図記録計摘出術、埋込型徐細動器移植術及び埋込型徐

細動器交換術、両室ペーシング機能付き埋込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き埋込型除細動器交換術、大動脈バルーンパンピング法（IABP法）、補助人工心臓、経皮的動脈遮断術、ダメージコントロール手術、体外衝撃波胆石破碎術、体外衝撃波腎・尿管結石破碎術、医科点数表2章第10部手術の通則5及び6（歯科点数表第2章9部の通則4を含む。）に掲げる手術、輸血管理料Ⅰ、麻酔管理料Ⅰ、Ⅱ、高エネルギー放射線治療、歯科治療総合医療管理料、歯周組織再生誘導手術、クラウン・ブリッジ維持管理料

【食事療養】入院時食事療養（Ⅰ）

【保険適用外の併用療養費】初診に係る特別の料金、特別の療養環境の提供、医薬品の治験に係る診療

(5) 機関指定等

保険医療機関・国民健康保険療養取扱機関・労災保険指定病院・救急告示病院・児童福祉法による助産施設・生活保護法指定病院・指定養育医療機関・母体保護法指定医・身体障害者福祉法指定医・原子爆弾被爆者一般疾病指定病院・特定疾患治療研究受託病院・地域災害医療センター指定病院・第二種感染症指定医療機関・指定自立支援医療機関（腎臓・整形外科・口腔・心臓血管外科・眼科・耳鼻咽喉科・脳神経外科・小腸・免疫・精神通院に関する）指定病院・原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律指定医療機関・透析療法従事職員研修実習施設病院・歯科医師臨床研修施設・医師臨床研修施設・日本医療機能評価機構認定病院・岐阜県特定不妊治療費助成事業医療機関・地域がん診療連携拠点病院・小児救急医療拠点病院・エイズ治療の拠点病院・岐阜県地域周産期母子医療センター認定施設

(6) 教育指定等

日本内科学会認定医制度教育病院
日本消化器病学会専門医制度認定施設
日本消化器内視鏡学会認定指導施設
日本皮膚科学会認定専門医研修施設
日本肝臓学会認定施設
日本泌尿器科学会専門医教育施設
日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
日本眼科学会専門医制度研修施設
日本小児科学会専門医制度研修施設
日本耳鼻咽喉科学会認可専門医研修施設
日本外科学会外科専門医制度修練施設
日本口腔外科学会認定医研修施設
日本消化器外科学会専門医修練施設

日本救急医学会救急科専門医指定施設
日本麻酔科学会麻酔科認定病院
日本胸部外科学会認定医認定制度指定施設
日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設
日本呼吸器学会認定施設
日本産科婦人科学会専門医制度卒後研修指導施設
日本アレルギー学会認定教育施設
日本透析医学会専門医制度認定施設
日本糖尿病学会認定教育施設
日本腎臓学会認定研修施設
日本集中治療医学会専門医研修施設
日本神経学会認定医制度教育施設
日本呼吸器内視鏡学会認定医制度認定施設
日本東洋医学会研修施設
日本血液学会認定血液研修施設
日本周産期・新生児医学会周産期専門医制度暫定研修施設
日本臨床細胞学会認定施設
日本乳癌学会認定医・専門医制度関連施設
日本臨床腫瘍学会認定研修施設
認定臨床微生物検査技師制度研修施設
三学会構成心臓血管外科専門医認定機構認定基幹施設
呼吸器外科専門医認定機構認定関連施設
日本精神神経学会認定精神科専門医制度研修施設
日本病院薬剤師会がん専門薬剤師研修施設
日本がん治療認定医機構認定研修施設
日本心血管カテーテル治療学会教育認定施設
日本小児循環器学会認定小児循環器専門医修練施設
日本肝胆膵外科学会高度技能医修練施設 A
日本気管食道学会認定気管食道科専門医研修施設
日本輸血細胞治療学会認定医制度指定施設
日本静脈経腸栄養学会 N S T 稼動施設
日本高血圧学会専門医認定施設
認定輸血検査技師制度指定施設

3. 年度別職員数（各年度5月1日現在）

（単位：人）

区分		年度	17	18	19	20	21	22
医 師	医師・歯科医師		129	135	135	143	152	152
	2年目研修医		・15	・14	・16	・16	・16	・15
	1年目研修医		・14	・16	・16	・16	・15	・16
	小計		158	165	167	175	183	183
助 産 師	助産師		22	25	26	28	28	25
	看護師		618	618	618	588	594	600
	准看護師		46(うち・2)	41(うち・1)	37(うち・1)	30(うち・1)	26(うち・1)	22
	小計		686	684	681	646	648	647
医 療 技 術 員	薬剤師		38	39	37	38	40	43
	診療放射線技師		30	30	31	33	34	37
	臨床検査技師		47	45	45	45	46	47
	臨床工学技士		13	12	12	13	14	15
	理学療法士		9	10	11	12	12	13
	作業療法士		4	4	4	4	4	4
	視能訓練士		3	3	2	3	2	2
	マッサージ師		—	—	—	—	—	—
	歯科技工士		1	1	—	—	—	—
	歯科衛生士		4	4	3	4	4	4
	管理栄養士		4	4	4	3	4	4
	栄養士		1	1	1	1	1	0
	言語聴覚士		4	4	4	4	4	4
小計		158	157	154	160	165	173	
事務員			41	42	41	41	42	42
保育士			6(うち・1)	6(うち・1)	6(うち・1)	6(うち・1)	6(うち・1)	5(うち・1)
医 療 補 助 員	救命救急部		1	1	1	1	1	0
	健康管理部		3	3	3	3	4	4
	薬剤部		5	5	5	5	5	4
	診療検査科		22(うち・1)	20	17	15	14	16
	輸血センター		1	1	1	1	1	0
	リハビリテーションセンター		2	1	1	1	1	1
	看護部		26	26	22	19	15	9
	庶務課		4	3	5	8	8	9
	施設課		1	1	1	1	1	2
	医事課		17	17	17	15	12	10
小計		82	78	73	69	62	55	
そ の 他 の 職 員	医療ソーシャルワーカー		4(うち・1)	4(うち・1)	4(うち・1)	4	4	5
	看護補助員		61	60	62	58	61	65
	運転手		2(うち・1)	2(うち・1)	1	1	1	1
	電気・ボイラーマン		10	10	10	10	10	8
	技術補助員等		5	5	4	3	3	2
	調理師等		39	38	36	35	35	34
	医療相談員		・1	・1	—	1	1	1
	診療部補助員		—	—	—	—	6	12
	臨床心理士		—	—	—	—	2	2
	警備員		—	—	—	—	—	1
小計		122	120	117	112	123	131	
合計			1,253	1,252	1,239	1,209	1,229	1,236
臨 パ ー 時 ト	看護師		7	6	8	17	24	28
	准看護師		6	6	6	7	8	12
	その他の職員		30	25	32	41	40	59
非 常 勤	嘱託医		20	21	22	24	29	34
	警備員		2	2	2	2	3	2
小計			65	60	70	91	104	135
総合計			1,318	1,312	1,309	1,300	1,333	1,371

・印は常勤嘱託

4. 許可病床等の推移

年月日	一般	結核	感染症	合計	病床及び基準看護等の推移
34.10.1	84	100	—	184	病院開設
36.6.1	183	〃	—	283	南頬町に移転開設 基準給食、基準寝具実施
37.8.10	〃	〃	(伝染) 45	328	伝染病棟完成により業務委託
38.7.20	193	〃	〃	338	成人病センター完成10床増
40.2.24	263	〃	〃	408	2病棟完成70床増
40.5.31	283	〃	〃	428	大垣市立産院移転改築20床増
44.2.28	293	86	〃	444	5病棟完成 分院廃止 結核14床減 救急30床増
48.9.18	453	〃	〃	604	一般160床増
53.4.1	559	48	〃	672	一般106床増、結核38床減 計68床増
53.6.1	〃	〃	〃	〃	基準看護 一般1類 結核3類 承認実施
54.7.1	〃	〃	〃	〃	基準看護 一般特1類 結核2類 承認
56.9.1	〃	〃	〃	〃	重症者の看護及び重症者の収容の基準 承認実施
57.7.1	〃	〃	〃	〃	基準看護 一般特2類 結核1類 承認
59.6.1	〃	〃	〃	〃	基準寝具(病衣) 承認実施
59.7.2	628	〃	(伝染) 30	706	増改築工事 管理棟(東)・伝染病棟完成 一般49床増、伝染15床減 計34床増
61.1.7	637	〃	〃	715	増改築工事 2病棟(西)完成 一般9床増
61.4.1	677	〃	〃	755	一般40床増
63.2.1	730	〃	〃	808	増改築工事完成 一般53床増
63.4.1	775	〃	〃	853	一般45床増
元.9.1	〃	〃	〃	〃	基準看護 一般特3類215床 特2類560床 承認
2.10.1	〃	〃	〃	〃	基準看護 一般特3類252床 特2類523床 承認
4.10.1	〃	〃	〃	〃	基準看護 結核 特1類(I) 承認実施
6.10.1	810	〃	〃	888	増改築工事 1病棟完成 一般35床増 基準看護 一般特3類279床 特2類531床増 届出
7.5.1	〃	〃	〃	〃	基準看護 一般特3類432床 特2類378床増 届出 新看護 結核 3対1看護(A) 13対1看補 届出
8.5.1	〃	〃	〃	〃	基準看護 一般特3類421床 特2類389床 届出
8.6.1	〃	〃	〃	〃	新看護 一般 結核2.5対1看護 13対1看補 届出 結核 8床減 一般8床増
8.6.1	818	40	〃	〃	新看護 一般2.5対1看護(A) 13対1看補 結核 3対1看護(A) 13対1看補 届出
9.6.1	〃	〃	〃	〃	新看護 一般2.5対1看護(A) 10対1看補 結核 3対1看護(A) 6対1看補 届出
10.1.1	〃	〃	〃	〃	新看護 一般2.5対1看護(A) 13対1看補 結核 3対1看護(A) 6対1看補 届出
10.6.1	〃	〃	〃	〃	新看護 一般2.5対1看護(A) 10対1看補 結核 3対1看護(A) 6対1看補 届出
11.4.1	〃	〃	6	864	感染症6床開設 伝染30床廃止
11.7.1	842	〃	〃	888	一般24床増
12.4.1	〃	〃	〃	〃	一般病棟入院基本料2(看護配置 2.5対1) 結核病棟入院基本料3(看護配置 3対1)
12.10.1	〃	〃	〃	〃	一般病棟入院基本料1(看護配置 2対1)
14.5.6	〃	〃	〃	〃	結核病棟入院基本料1(看護配置 2対1) 結核40床のうち15床を休床
16.9.19	〃	〃	〃	〃	結核病棟入院基本料3(看護配置 3対1) 結核40床のうち21床を休床
18.4.1	〃	〃	〃	〃	一般病棟入院基本料(看護職員実質配置 10対1) 結核病棟入院基本料(看護職員実質配置 15対1)
22.4.1	〃	〃	〃	〃	一般病棟入院基本料(看護職員実質配置 10対1) 結核病棟入院基本料(看護職員実質配置 10対1)

5. 診療科目等の推移

年 月 日	診 療 科 目 等 (★は新設 ☆は独立 ◎は名称変更 ◇は廃止)	備 考
34. 10. 1	内科・小児科・外科・産婦人科・眼科・耳鼻いんこう科・ 歯科・放射線科・分院	病院開設
36. 6. 1	★整形外科・★皮膚科・★産院（業務委託）	南頬町に移転開設
36. 10. 1	☆第2内科（内科から）・★成人病科	成人病センター完成
39. 3. 26		総合病院指定
40. 3. 19	★救急室新設	救急告示病院指定
40. 4. 1	◎皮膚泌尿器科（皮膚科から）	
41. 4. 1	★理学診療科	
44. 4. 1	◎呼吸器科（◇分院廃止）・☆皮膚科・☆泌尿器科	5病棟完成
51. 12. 23	★脳神経外科	
58. 8. 1	☆循環器科（内科から）・◎消化器科（第2内科）	
59. 3. 31	◇産院（業務委託）廃止	金生助産所業務受託廃止
63. 4. 1	★心臓血管外科（胸部外科）・★第2小児科（小児循環器 新生児科） ★麻酔科・★臨床病理科・◎健康管理科（成人病科）	63. 1 増改築工事完成
4. 4. 1	☆第2小児科（小児循環器科、新生児科） ◎歯科・口腔外科	
6. 10. 1	◎第2小児科（小児循環器、新生児科） ★救命救急センター（◇救急室）	6. 8 増改築工事完成
7. 4. 1	★健康管理センター（◇健康管理科） ◎救命救急センター（救急室、集中治療室）	7. 8 診療棟外増改築 工事完成
9. 3. 1	◎リハビリテーション科（理学診療科）	
9. 4. 1	◎歯科口腔外科（歯科・口腔外科）・★精神科（精神神経科）	
10. 4. 1	★形成外科	
15. 4. 1	★小児外科	
16. 4. 1	◎総合内科（内科）、☆糖尿病・腎臓内科（内科）、 ☆血液内科（内科）、☆神経内科（内科）	16. 8 3病棟西側増改築 工事完成
17. 4. 1	☆呼吸器外科	
19. 1. 1	☆通院治療センター	
20. 7. 1	◎頭頸部・耳鼻いんこう科（耳鼻いんこう科）	

6. 施 設

(1) 院内の建物（構造及び用途）

・院内敷地面積 34,570.81㎡

・院内建物延床面積 80,146.88㎡

・診療施設 延面積 75,078.57㎡

建 物	完 成 年 月 日	建 物 の 構 造 概 要	用 途	面積 (㎡)
診 療 棟 1 病 棟 西	H 4. 3. 30	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階地上6階建	外来診療室、処置室、調剤室、救命救急センター、X線室、検査室、X線CT室、無菌製剤室、薬品倉庫、受付、会計、患者待合、病室、看護師室、分娩室、沐浴室、当直室他	24,483.52
診 療 棟 1 病 棟 東	H 6. 8. 31			
2 病 棟 西	S61. 1. 31	鉄骨鉄筋コンクリート造 9階建	事務室、中央手術室、中央材料室、検査室、X線室、病室、看護師室、処置室他	18,583.01
2 病 棟 東	S63. 1. 31			
管 理 棟 東	S59. 2. 29	鉄筋コンクリート造 6階建	講堂、研究室、研修医室、部長室、更衣室他	3,019.87
管 理 棟 西	S63. 1. 31	鉄筋コンクリート造 5階建	リネン室、消毒室、図書室、透析センター他	2,787.92
西 渡 り 廊 下	S44. 9. 30	鉄筋コンクリート造 2階建	病院感染制御室他	299.67
3 病 棟 西	H16. 8. 31	鉄骨鉄筋コンクリート造 10階建	病室、看護師室、処置室、職員食堂、入院調剤室、輸血センター、医療工学センター、ガンマカメラ室、通院治療センター他	19,989.13
3 病 棟 東	H19. 3. 23			
多 目 的 棟	S51. 7. 29	鉄筋コンクリート造 2階建	事務室他	1,519.59
健 康 管 理 セ ン タ ー	S50. 7. 20	鉄筋コンクリート造 2階建	MR I室、PET-CT室、健康管理センター他	968.68
エ ネ ル ギ ー セ ン タ ー	S54. 7. 31	鉄筋コンクリート造 4階建	ボイラー室、冷凍機室、備蓄センター、監視室、受変電室、自家発電室他	1,689.26
第 2 エ ネ ル ギ ー セ ン タ ー	S63. 1. 31	鉄筋コンクリート造 3階建	冷凍機室、医療ガス機器室他	629.30
感 染 症 病 棟	S59. 3. 31	鉄筋コンクリート造 2階建		673.80
附 属 建 物	—	鉄骨造平屋建	自転車置場、ポンプ室他	434.82

・医師、看護師寮 延面積 5,068.31㎡

建 物	完 成 年 月 日	建 物 の 構 造 概 要	用 途	面積 (㎡)
医 師 寮	S56. 2. 22	鉄筋コンクリート造 4階建	寮室34室、談話室、管理人 室他	1,473.67
看 護 師 寮	S47. 7. 12	鉄筋コンクリート造 5階建	寮室75室、談話室、管理人室、 保育所他	3,594.64

(2) 院外の建物 (構造及び用途)

・医師住宅 延面積 1,744.05㎡

建 物	完 成 年 月 日	建 物 の 構 造 概 要	用 途	面 積 (㎡)	戸 数	1 戸 当 た り (㎡)
世 安 住 宅 1 ~ 4 号 棟	S39. 10. 14	鉄筋コンクリート造 2階建	医師住宅	362.88	4	90.72
世 安 住 宅 5 ~ 7 号 棟	S41. 3. 30	鉄筋コンクリート造 2階建	医師住宅	272.16	3	90.72
世 安 住 宅 8 ~ 10 号 棟	S43. 2. 28	鉄筋コンクリート造 2階建	医師住宅	272.16	3	90.72
世 安 住 宅 11 ~ 13 号 棟	S44. 10. 30	鉄筋コンクリート造 2階建	医師住宅	272.16	3	90.72
禾 森 住 宅	S51. 2. 28	鉄筋コンクリート造 3階建	医師住宅	564.69	6	94.12

・その他の施設 延面積 1,669.80㎡

建 物	完 成 年 月 日	建 物 の 構 造 概 要	用 途	面積 (㎡)
バスのりば (南)	S43. 3. 31	鉄筋コンクリート造 平家建	外来患者用 (市民病院前バス停)	18.48
バスのりば (北)	S44. 4. 25	鉄筋コンクリート造 平家建	外来患者用 (市民病院前バス停)	32.16
新 幹 線 下 倉 庫 A	S52. 11. 28	鉄骨造 2階建	診療録・X線フィルム庫	365.85
新 幹 線 下 倉 庫 B	S53. 9. 16	鉄骨造 2階建	診療録・X線フィルム庫	232.98
新 幹 線 下 倉 庫 C	S56. 3. 25	鉄骨造 2階建	一般書類・備品等倉庫	414.16
新 幹 線 下 倉 庫 D	S58. 12. 22	鉄骨造 2階建	一般書類・備品等倉庫	606.17

7. 各科別入院・外来患者の推移

(1) 入院

(単位：人)

科名 \ 年度	17	18	19	20	21
総合内科	854	559	263	399	326
糖尿病・腎臓内科	10,078	9,878	11,464	10,201	10,516
血液内科	15,387	16,919	15,058	15,767	18,843
神経内科	15,562	15,221	16,702	14,417	15,967
消化器科	35,087	35,536	34,285	31,742	30,411
呼吸器科	29,696	29,318	32,695	30,931	29,449
循環器科	24,852	27,621	28,180	27,286	28,126
小児科	14,826	15,024	12,914	12,227	12,913
第2小児科	10,822	10,175	10,288	11,157	10,528
外科	40,316	41,121	37,938	35,274	32,898
脳神経外科	14,926	14,164	16,796	16,073	16,415
胸部外科	6,390	7,133	8,408	6,295	6,409
形成外科	3,077	2,002	1,831	1,749	1,715
整形外科	31,651	28,783	27,807	25,758	27,189
皮膚科	4,015	4,619	4,015	4,411	4,329
泌尿器科	8,540	7,650	7,906	8,093	8,085
産婦人科	15,244	14,771	14,973	13,083	13,521
眼科	5,226	6,335	5,636	4,911	3,819
頭頸部・耳鼻いんこう科	6,745	6,285	6,282	6,101	6,155
歯科口腔外科	2,961	3,257	3,602	3,133	2,937
麻酔科	63	43	2	—	0
感染症	0	0	0	0	19
計	296,318	296,414	297,045	279,008	280,570
1日平均患者数	812	812	812	764	769
年間診療日数	365	365	366	365	365

※外科は小児外科を含む

※胸部外科は平成17年度から呼吸器外科を含む

(2) 外 来

(単位：人)

科名	年度	17	18	19	20	21
総合内科		9,108	10,530	9,094	10,728	9,889
糖尿病・腎臓内科		33,462	32,740	34,148	36,459	36,707
血液内科		8,038	8,609	8,328	8,715	9,420
神経内科		19,588	13,859	15,116	12,822	13,657
消化器科		79,481	73,054	68,283	64,336	65,087
呼吸器科		40,106	35,905	36,473	35,963	37,568
循環器科		53,685	48,889	46,809	45,761	48,147
精神神経科		9,914	9,790	10,143	324	21
小児科		36,986	35,275	31,356	30,163	32,780
第2小児科		10,674	11,421	11,686	10,780	10,890
外科		46,038	47,705	47,883	47,643	45,504
脳神経外科		17,718	15,290	15,200	15,388	15,188
胸部外科		7,612	7,961	8,626	8,418	7,830
形成外科		8,235	7,476	7,477	7,574	7,507
整形外科		48,752	43,393	42,094	41,453	40,779
皮膚科		38,117	41,571	37,587	35,475	37,643
泌尿器科		35,115	33,312	32,862	32,563	34,824
産婦人科		25,463	26,177	27,735	27,883	29,604
眼科		41,015	37,698	34,169	30,512	30,451
頭頸部・耳鼻いんこう科		21,230	22,669	24,003	24,267	20,423
歯科口腔外科		18,470	17,729	17,691	17,652	17,956
リハビリテーション科		18,016	15,705	15,263	15,542	16,864
麻酔科		923	984	21	116	333
放射線科		—	—	—	49	119
通院治療センター		—	1,160	5,297	7,040	8,358
健康管理センター		4,667	4,495	4,879	7,801	7,634
計		632,413	603,397	592,223	575,427	585,183
1日平均患者数		2,592	2,463	2,417	2,349	2,418
年間診療日数		244	245	245	245	242

※外来の1日平均患者数は年間診療日数で除した数値

※外科は小児外科を含む

※胸部外科は平成17年度から呼吸器外科を含む

※平成18年度から通院治療センターが新設

※平成20年度から放射線科にて、PET-CTの実施数を計上

※平成21年6月から精神神経科は、休診中

8. 財政状況

(1) 収益的収入及び支出 (税込み)

(単位：千円)

区分	年度	平成 20 年 度 決 算 額	平成 21 年 度 決 算 額	平成 22 年 度 予 算 額
病院事業収益		25,464,042	26,851,225	26,570,000
病院医業収益		24,890,833	26,434,285	26,097,000
病院医業外収益		572,257	416,269	472,000
特別利益		952	671	1,000
病院事業費用		25,154,738	26,199,912	26,560,000
病院医業費用		23,879,610	25,051,615	25,969,000
病院医業外費用		992,418	930,952	286,000
特別損失		282,710	217,345	295,000
予備費		0	0	10,000
差引		309,304	651,313	10,000

(2) 資本的収入及び支出 (税込み)

(単位：千円)

区分	年度	平成 20 年 度 決 算 額	平成 21 年 度 決 算 額	平成 22 年 度 予 算 額
資本的収入		1,110,456	1,338,136	1,414,000
企業債		—	200,000	250,000
出資金		98,087	116,782	160,200
補助金		10,799	17,301	—
固定資産売却代金		998,000	1,000,000	1,000,000
貸付金返還金		2,500	2,750	1,800
寄附金		1,070	1,303	2,000
資本的支出		2,342,680	2,962,207	2,485,000
建設改良費		790,738	1,807,892	1,261,800
企業債償還金		515,350	111,617	162,300
貸付金		35,400	41,450	55,800
投資		1,001,192	1,001,232	1,005,000
補助金返還金		—	16	100
資本的収入額が資本的 支出額に不足する額		1,232,224	1,624,071	1,071,000
補てん財源内訳				
過年度分消費税及び地方 消費税資本的収支調整額		5,493	1,255	1,203
減債積立金		45,000	20,000	20,000
過年度分損益勘定留保資金		1,181,731	1,602,816	1,049,797